

簿記3級、2級同日受験を目指して

下山 拓也

受講講座：日商簿記検定講座2級コース
勤務先：群馬県前橋市行政県税事務所

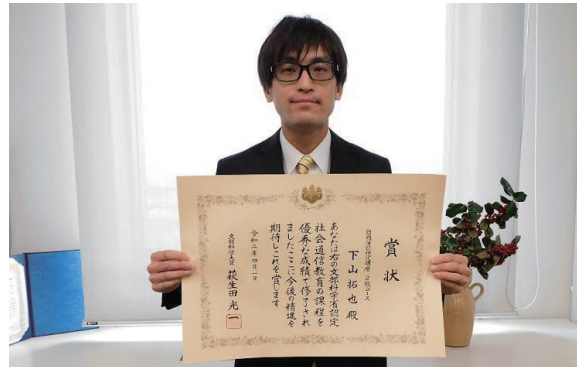
このたびは、文部科学大臣表彰という栄誉を賜り、大変光栄に存じます。

今回簿記2級の講座を受講させていただくこととなりましたが、それまでの私は2級の基礎知識はおろか、3級の知識すらほとんどありませんでした。講座で配付されるテキストは、当然ですが3級は習得済みであることを前提で作成されており、最初は、一読してもほとんど理解できませんでした。

そこで、学習の計画を練り直し、受講期間の最初の数ヶ月は添削問題を提出するにとどめ、3級の知識の習得に注力することとしました。幸いにもインターネットで詳しく解説しているサイトが多数あったため、それらを活用して学習していきました。そのため、添削問題の提出はいつも期限ぎりぎりでした。

受講期間の後半は配付された問題集をひたすら解いていきました。受講前から、受講期間終了後すぐ行われる本試験の受験を目標としていたので、そこから逆算して問題集を解くスケジュールを立てたのですが、1日1回分では試験までに全て解き終わらないため、1日2回分解くなどして、全ての問題を最低1回は解くように心がけました。この頃になると、勤務時間終了後に職場の机で学習し、帰宅後家族が寝静まったあとに机に向かうといった生活でした。応援してくれた職場の方々には本当に感謝しています。

本試験は午前が3級、午後が2級の試験だったことから、試験会場の雰囲気慣れる意図もあり、3級と2級を同時に受験することとしました。幸いに



も3級の最初の問題で躓かなかったため、それほど緊張せずに問題を解いていくことができたのですが、帰宅途中でいくつかミスに気がついてしまったため、合否の発表まで落ち着きませんでした。結果は両方の級で合格することができ、ほっとしたことを覚えています。

振り返ってみると、スケジュールは常にぎりぎりでしたが、簿記について日ごとに理解が深まっていき、楽しく受講できたことが結果につながったと思っています。

今年度異動になりましたが、新しい職場では財務諸表を見る機会が多く、早速得た知識を活用できており、恵まれた環境の中にいると感じています。今後も様々な財務諸表に触れることで、簿記に対する理解をさらに深めていきたいと思っています。

結びに、片桐先生をはじめ、サポートしていただきました日本通信教育学園の皆様にも厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。